

# 動物解剖生理学 I

## (授業概要)

身体各部分の形態や機能を詳しく学ぶことで各系統の特質や性状を知り、総じて身体の恒常性（ホメオスタシス）について十分に理解できるようにする。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70

## 目標

### 1 学期

細胞や遺伝子に始まり、神経系、感覚器系、内分泌系、呼吸器系、循環器系までの主要な形態構造と機能について学ぶ。

### 2 学期

同じく消化器系、泌尿器系、運動器・骨格系、血液、肝臓、膵臓、皮膚組織、生殖器系について学ぶ。また、時間の不足を鑑み、予備日を復習講義と兼用で設けている。

## 授業計画

### 前期

- 1回 序章、細胞（1）
- 2回 細胞（2）
- 3回 細胞（3）
- 4回 細胞（4）
- 5回 細胞（5）
- 6回 消化器系（1）
- 7回 消化器系（2）
- 8回 消化器系（3）
- 9回 内分泌系（1）
- 10回 内分泌系（2）
- 11回 内分泌系（3）
- 12回 循環器系（1）
- 13回 循環器系（2）
- 14回 呼吸器系（1）

### 後期

- 15回 呼吸器系（2）
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却・解答

- 18回 神経系（1）
- 19回 神経系（2）
- 20回 神経系（3）
- 21回 運動器・骨格系（1）
- 22回 運動器・骨格系（2）
- 23回 運動器・骨格系（3）
- 24回 運動器・骨格系（4）
- 25回 肝臓（1）
- 26回 肝臓（2）
- 27回 脾臓
- 28回 泌尿器（1）
- 29回 泌尿器（2）
- 30回 泌尿器（3）
- 31回 生殖器（1）
- 32回 生殖器（2）
- 33回 生殖器（3）
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却・解答

#### 授業の方法

自作のテキストによる講義。

#### 教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

#### 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

#### 授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

#### 実務経験と授業科目の関係

獣医師

# ビジネスマナー/HR

## (授業概要)

接客や社会人の基本となるビジネスマナーを身に着ける。

インターン実習や業界理解のための時間とする。

科	動物看護師学科	教員	橋本
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35コマ

## 目標

### 1 学期

就職活動やインターンシップでの重要となる書類である履歴書とお礼状。

この2つの書き方やマナーを知り、正しく書けるようになる事。

スーツの着方(男性の場合は身だしなみやネクタイの結び方など、女性の場合も身だしなみやアクセサリなど)の間違いと正解を区別できるようなる。

立ち方やお辞儀の仕方などの所作を身につける。

敬語(丁寧、謙譲語、尊敬語)の差別化をして理解し話せるようになる。

現代の最新のビジネスマナーでもあるリモートワークマナーを知る。

席次(上座と下座)、名刺交換の基本を理解し実践ができるようになる。

### 2 学期

電話対応の基本を理解する。

ビジネス文書のシーンに合った使い分けが出来るようになる。

封筒の基本と宛名の書き方に関するマナー理解できるようになる。

冠婚葬祭のマナーを理解できるようになる事。

食事と飲み会に関するビジネスマナーがある事を知り、理解できるようになる。

## 授業計画

- 1回 自己紹介(自分の長所、短所、趣味など面接でよく聞かれる項目も入れて発表を行う)
- 2回 学校でのエレベータの使い方、受付の利用の仕方、校舎見学
- 3回 履歴書の書き方①(個人情報の書き方について)
- 4回 履歴書の書き方②(志望動機、セールスポイントなどの自己PRの書き方)
- 5回 履歴書の書き方③(資格、好きな科目などの書き方)
- 6回 お礼状の書き方・実践①
- 7回 お礼状の書き方・実践②
- 8回 お礼状の書き方・実践③
- 9回 封筒の書き方・送り方①
- 10回 封筒の書き方・送り方②

- 11回 ビジネス会話の基本①(敬語について)
- 12回 ビジネス会話の基本②(定番の言い回し、クッション言葉)
- 13回 席次①(上座と下座について)
- 14回 席次②(シチュエーション別の席次、実践)
- 15回 会社での挨拶の仕方、立ち方、お辞儀の基本、椅子の座り方、入退室の基本。
- 16回 試験対策(復習課題)
- 17回 試験
- 18回 試験フィードバック
- 19回 電話応対
- 20回 ビジネス文書①(紙文書)
- 21回 ビジネス文書②(メール)
- 22回 ビジネス文書③(FAX)
- 23回 リモートワークマナー
- 24回 名刺交換(名刺交換の基本、同時交換、複数交換)①
- 25回 名刺交換(実践)②
- 26回 履歴書復習
- 27回 求人票の見方
- 28回 ビジネス用語について①(基本編)
- 29回 ビジネス用語について②(求人編)
- 30回 ホウレンソウ、5W3Hについて、人間関係のマナー
- 31回 お礼状復習
- 32回 雇用形態について
- 33回 会社での役職の序列と役割について
- 34回 試験
- 35回 試験返却

#### 授業の方法

講義、問題演習、実践

#### 教材

なし

#### 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

#### 授業外での学習方法

校内やプライベートでも意識して実践をする。

例えばエレベータにて席次を意識して乗る事。先生やアルバイト先の先輩・店長など常日頃、敬語(丁寧語、尊敬語)を意識して話すなど。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# トレーニング概論・実習Ⅰ

## (授業概要)

犬のトレーニングに必要な基礎知識とトレーニング方法を座学と実習で学ぶ

科	動物看護師学科	教員	中村・田村
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70時間

## 目標

### 1学期

犬の適切な世話の方法と学習方法を学ぶ

### 2学期

人と犬との生活について学ぶ

## 授業計画

- 1回 実習ガイダンス
- 2回 犬との顔合わせ
- 3回 犬とは
- 4回 犬の生得的本能
- 5回 犬の気質と素因
- 6回 脳の働きと行動の関係
- 7回 仔犬の成長過程①
- 8回 仔犬の成長過程②
- 9回 犬の社会的階級について
- 10回 犬のコミュニケーションについて①
- 11回 犬のコミュニケーションについて②
- 12回 前期期末試験（筆記試験・実技試験）
- 13回 前期期末試験（実技試験）
- 14回 前期のまとめ振り返り
- 15回 前期の復習
- 16回 犬との生活①
- 17回 犬との生活②

- 18回 トイレトレーニング
- 19回 ハウストレーニング
- 20回 LEADプログラムとは①
- 21回 LEADプログラムとは②
- 22回 飼い主との関係を築くには①
- 23回 飼い主との関係を築くには②
- 24回 子供と犬の関わり
- 25回 多頭飼育について
- 26回 障害のある犬のトレーニング①
- 27回 障害のあるトレーニング②
- 28回 暴力の連鎖とは
- 29回 犬との生活のまとめ①
- 30回 犬との生活のまとめ②
- 31回 犬との生活のまとめ③
- 32回 後期期末試験（筆記試験・実技試験）
- 33回 後期期末試験（実技試験）
- 34回 1年間のまとめ
- 35回 トレーニングゲーム①

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実習と座学

きょうざい  
教材

授業テキスト（配布）

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%（筆記試験・実技試験）、じゅぎょうたいど 授業態度・提出物 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# アニマルアクティビティ

## (授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適正飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

科	動物看護師学科	教員	荻野 直美
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 1学期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

### 2学期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

## 授業計画

### 1学期

- 1回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3回 AAT を行うためには
- 4回 動物がもたらす効果
- 5回 AAT を行う側からの分類①
- 6回 AAT を行う側からの分類②
- 7回 AAT を受ける側からの分類
- 8回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10回 動物の適性評価①
- 11回 動物の適性評価②
- 12回 テスト (筆記)
- 13回 テスト (解答) 前期まとめ
- 14回 活動中のストレス要因

### 2学期

- 15回 患者に合った動物を選ぶ
- 16回 AAT の適応に注意が必要な場合
- 17回 動物への不適切な扱い

18回	捨てず・増やさず・飼うなら一生①
19回	捨てず・増やさず・飼うなら一生②
20回	グループワーク
21回	活動に参加する動物のチェック
22回	活動に際しての注意点
23回	活動当日の注意点 デモンストレーション
24回	ボランティアの責任
25回	施設と設定
26回	動物を飼う「食事編」
27回	動物を飼う「環境編」
28回	動物を飼う「体の手入れ編」
29回	動物を飼う「運動編」
30回	動物を飼う「予防編」
31回	動物を飼う「トレーニング編」
32回	動物を飼う「愛情・絆編」
33回	後期ノートチェック、テスト範囲まとめ
34回	テスト（筆記）
35回	テスト（解答）

<small>じゅぎょう ほうほう</small> 授業の方法
講義、演習、グループワーク

<small>きょうざい</small> 教材
ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター

<small>ひょうか ほうほう</small> 評価の方法
<small>きまつしけん</small> 期末試験80%、出席率 20%

<small>じゅぎょうがい がくしゅうほうほう</small> 授業外での学習方法
なし

<small>けいけん じゅぎょうかもく かんけい</small> 経験と授業科目の関係
あり

# エキゾチックアニマルⅠ

## (授業概要)

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	動物看護師学科	教員	金田
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×2

## 目標

### 1学期

エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

### 2学期

ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

## 授業計画

- 1回 エキゾチックアニマルとは
- 2回 ペットの適性について
- 3回 ハムスターについて（分類、歴史）
- 4回 ハムスターについて（体の特徴）
- 5回 ハムスターについて（体の特徴）
- 6回 ハムスターについて（生理的な特徴）
- 7回 ハムスターについて（飼育方法）
- 8回 ハムスターについて（繁殖）
- 9回 ハムスターについて（病気）
- 10回 ハムスターについて（病気）
- 11回 ウサギについて（分類・歴史）
- 12回 ウサギについて（体の特徴）
- 13回 ウサギについて（体の特徴）
- 14回 試験対策

- 15回 前期試験
- 16回 前期試験
- 17回 ウサギについて（生理的な特徴）
- 18回 ウサギについて（飼育方法）
- 19回 ウサギについて（病気）
- 20回 ウサギについて（病気）
- 21回 モルモットについて（分類・歴史）
- 22回 モルモットについて（体の特徴）
- 23回 モルモットについて（生理的な特徴）
- 24回 モルモットについて（飼育方法・繁殖）
- 25回 モルモットについて（繁殖）
- 26回 モルモットについて（病気）
- 27回 モルモットについて（病気）
- 28回 フェレットについて（分類・歴史）
- 29回 フェレットについて（体の特徴）
- 30回 フェレットについて（生理的な特徴）
- 31回 フェレットについて（飼育方法）
- 32回 試験対策
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験
- 35回 フェレットについて（病気）

#### 授業の方法

講義

#### 教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

#### 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

#### 授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

#### 実務経験と授業科目の関係

あり

# コンパニオンキャット I

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護師）を目指すうえで知っておくべき猫の基礎知識について、種類や歴史、身体の特徴、繁殖、病気を中心に全般的な知識を習得する。

科	動物看護師学科	教員	上田阿由美
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1 学期

猫についての基本的な知識を知るとともに、猫と犬の違いを学ぶ。また、猫の行動学も学び、理解をし、説明できるようになる。

### 2 学期

猫種、仔猫の健康チェック方法、ケアの仕方、伝染病などの猫の病気を学び、それらを人に伝えられるようになる。

## 授業計画

### 前期

- 1回 オリエンテーション（授業のルール・評価の出し方。）上田の自己紹介
- 2回 プロのMIXと純血種の定義
- 3回 LH/SHの性格。遺伝等の違い
- 4回 アメリカンショートヘアについて
- 5回 MALE/FEMALEの性格等の違い
- 6回 猫と犬の違い①（習性・体型・感触）
- 7回 猫と犬の違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 8回 猫と犬の違い③（種類・腸管・歯・毛色）
- 9回 猫と犬の違い④（繁殖機能）
- 10回 行動学①（舌・爪・尾）
- 11回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 12回 行動学③（内臓・皮膚・体感・マタタビ）
- 13回 CFA公認猫種のDVD①
- 14回 CFA公認猫種のDVD②
- 15回 猫のタイプによる分類
- 16回 猫のタイプによる分類
- 17回 前期末テスト
- 18回 前期末テスト答え合わせ&不理解部分の説明

**後期**

- 19回 子猫の健康チェック①
- 20回 子猫の健康チェック②
- 21回 子猫の健康チェック③
- 22回 毎日のケア①
- 23回 毎日のケア②
- 24回 毎日のケア③
- 25回 ワクチンについて①
- 26回 ワクチンについて②
- 27回 ワクチンについて③
- 28回 猫の病気①
- 29回 猫の病気②
- 30回 猫の病気③
- 31回 猫の血液型①
- 32回 猫の血液型②
- 33回 猫の血液型③（FNI）
- 34回 後期末テスト
- 35回 後期末テストの答え合わせ&不理解部分の説明

**授業の方法**

講義

**教材**

CFA猫種 スタンダード訳本

**評価の方法**

期末試験80%、出席率 20%

**授業外での学習方法**

健康チェックやケアを実際に猫を扱いながら行う

**実務経験と授業科目の関係**

あり

# コンパニオンドッグ I

## (授業概要)

犬に関わる職業において必要な犬種ごとの特徴や対応を学び、犬を理解するとともに、将来の仕事において、お客様への情報提供やサービス、接客にて役立つ知識として学ぶ。また、実習において基礎知識を応用し、実際に犬と関わるうえで犬の扱い方、対応を実践としてつなげる。

科	動物看護師学科	教員	稲岡 愛
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 1 学期

主要犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

### 2 学期

主要以外の人気犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び、外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

## 授業計画

- 1回 授業の説明、グループ分け①
- 2回 グループ分け②
- 3回 グループ分け③
- 4回 グループ分け④
- 5回 グループ分け⑤
- 6回 人気犬種 2 種 (プードルなど)
- 7回 人気犬種 2 種 (ダックスフンドなど)
- 8回 人気犬種 2 種 (柴など)
- 9回 人気犬種 2 種 (M シュナウザーなど)
- 10回 人気犬種 2 種 (マルチーズなど)
- 11回 人気犬種 2~3 種 (フレンチブルドッグなど)
- 12回 人気犬種 2 種 (パグなど)
- 13回 人気犬種 2~3 種 (L レトリバーなど)
- 14回 自主学習日 (課題)
- 15回 試験対策

- 16回 (前期試験期間)
- 17回 (前期試験期間)
- 18回 人気犬種 2～3 種 (ブルドッグなど)
- 19回 人気犬種 2～3 種 (シベリアン・ハスキーなど)
- 20回 人気犬種 2～3 種 (ドーベルマンなど)
- 21回 ペットを迎え入れることについて
- 22回 人気犬種 2～3 種 (G シェパードなど)
- 23回 人気犬種 2～3 種 (サモエドなど)
- 24回 人気犬種 2～3 種 (チャウ・チャウなど)
- 25回 人気犬種 2～3 種 (ニューファンドランドなど)
- 26回 犬との生活
- 27回 人気犬種 2～3 種 (Mブル・テリアなど)
- 28回 人気犬種 2～3 種 (アイリッシュ・セターなど)
- 29回 人気犬種 2～3 種 (ケアン・テリアなど)
- 30回 人気犬種 2～3 種 (E スプリンガー・スパニエルなど)
- 31回 試験対策
- 32回 (後期試験期間)
- 33回 (後期試験期間)
- 34回 就職先で犬種知識を生かすために
- 35回 自主学習日 (課題)

#### 授業の方法

講義

#### 教材

まるごとわかる犬種図鑑

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20% (出席率、授業態度等)

#### 授業外での学習方法

授業前に事前学習として対象の犬種の様々な画像を見ておく

日常生活で犬を見たら犬種名を言えるようにする (わからない場合は調べるもしくは飼い主に確認)

#### 実務経験と授業科目の関係

あり

# コンピューター実習 I

## (授業概要)

本講義では、Microsoft Word を用いたビジネス文書の作成、Excel を用いた表計算とグラフ作成、PowerPoint を用いた基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行えるようになることを目的とする。

科	生命科学科, 動物看護師学科	教員	近澤優子
コース	DGT, SML, TEP, WLD, VN1	教員の実務経験	×
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 1 学期

タッチタイピングが行える。

Microsoft Word を使用して、基本的なビジネス文書の作成が行える。

### 2 学期

Microsoft Excel を使用して、数式・関数を用いた計算と、グラフの作成が行える。

Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

## 授業計画

- 1回 授業概要
- 2回 タイピング基礎
- 3回 文字の入力と変換
- 4回 Word 基本操作, 画面構成
- 5回 ページ設定, 文章入力, 文字の編集
- 6回 フォントの設定, 段落設定, 箇条書き
- 7回 課題 (1)
- 8回 グラフィック機能 (1); ワードアート, 画像
- 9回 グラフィック機能 (2); 文字の効果, ページ罫線
- 10回 グラフィック機能 (3); 図形, SmartArt
- 11回 表の作成と編集 (1)
- 12回 表の作成と編集 (2)
- 13回 表の作成と編集 (3)
- 14回 課題 (2)
- 15回 前期復習
- 16回 Word 確認テスト
- 17回 Word 確認テスト振り返り (前期最終)

- 18回 後期授業概要, Excel 基本操作, 画面構成 (後期初回)
- 19回 データの入力と編集, オートフィル
- 20回 数式の入力
- 21回 関数 (1); SUM, AVERAGE
- 22回 関数 (2); COUNT, MAX, MIN
- 23回 絶対参照と相対参照
- 24回 表の書式設定, 表示形式
- 25回 表の編集
- 26回 グラフ (1); 円グラフ
- 27回 グラフ (2); 棒グラフ
- 28回 Excel 復習
- 29回 Excel 確認テスト
- 30回 Excel 確認テスト振り返り
- 31回 PowerPoint 基本操作, 画面構成, 新規プレゼンテーションの作成
- 32回 テーマ設定, テキストの入力と編集, 箇条書き, フォントの設定
- 33回 図形, 画像, アニメーション
- 34回 個人課題 (1)
- 35回 個人課題 (2), 後期振り返り (後期最終)

#### 授業の方法

コンピューター演習

#### 教材

よくわかる Word2016 & Excel2016, FOM 出版

#### 評価の方法

授業中の取り組み態度 10%, 課題提出 40%, テスト 50%

#### 授業外での学習方法

予習 1h, 復習 1h

#### 実務経験と授業科目の関係

# 公衆衛生学 1

## (授業概要)

近年環境破壊等の人間活動を原因とする新興感染症・再興感染症の台頭が地球規模で問題となっており、これらの多くが人獣共通感染症である。人、動物、環境の健康は一体として守るべきもの（ワンヘルス）との考え方を基本として、人と動物の健康保持・推進のため人獣共通感染症について学習する。さらに、動物由来の食品等が原因となることが多い食中毒についても学習する。

科	動物看護師学科	教員	花木
コース	動物看護コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 1 学期

公衆衛生の基本となる国民衛生の動向、感染症の基本的知識（疫学、病原体、感染、防疫等）について学ぶ。  
人獣共通感染症のうち、細菌を原因とするものについて学ぶ。

### 2 学期

人獣共通感染症のうち、寄生虫、ウイルス、真菌を原因とするものについて学ぶ。  
感染症を媒介することが多い衛生害虫（蚊、ダニ、ノミ等）について学ぶ。  
食中毒と食品による危害防止を目的とする食品衛生法について学ぶ。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 公衆衛生とは
- 2回 国民衛生の動向
- 3回 疫学と疾病予防
- 4回 感染症の基礎 1（病原体）
- 5回 感染症の基礎 2（感染、予防、免疫）
- 6回 感染症の基礎 3（バイオハザード等）
- 7回 人獣共通感染症
- 8回 細菌性人獣共通感染症 1
- 9回 細菌性人獣共通感染症 2
- 10回 細菌性人獣共通感染症 3
- 11回 細菌性人獣共通感染症 4
- 12回 細菌性人獣共通感染症 5
- 13回 寄生虫性人獣共通感染症 1
- 14回 寄生虫性人獣共通感染症 2
- 15回 前期総括

- 16回 前期試験
- 17回 寄生虫性人獣共通感染症 3
- 18回 寄生虫性人獣共通感染症 4
- 19回 寄生虫性人獣共通感染症 5
- 20回 ウイルス性人獣共通感染症 1
- 21回 ウイルス性人獣共通感染症 2
- 22回 ウイルス性人獣共通感染症 3
- 23回 ウイルス性人獣共通感染症 4
- 24回 ウイルス性人獣共通感染症 5
- 25回 狂犬病
- 26回 真菌性人獣共通感染症
- 27回 公衆衛生上重要な衛生昆虫
- 28回 新興感染症・再興感染症 1
- 29回 新興感染症・再興感染症 2
- 30回 食品衛生法の概要
- 31回 食中毒 1
- 32回 食中毒 2
- 33回 食中毒 3
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却 / 公衆衛生に関する現状と課題

授業の方法

自作のテキスト、パワーポイントによる講義

教材

なし

評価の方法

期末試験 80%、授業態度 20%

授業外での学習方法

参考書、厚生労働省等公的機関のウェブサイト等により知識や最新情報を習得する

実務経験と授業科目の関係

あり（公衆衛生獣医師として保健所等で公衆衛生行政に従事）

# 動物栄養学Ⅰ

## (授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理についての知識を身に着ける。

科	動物看護師学科	教員	森 聖
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×2時間

## 目標

### 1 学期

動物にとって適切なエネルギー量がどのようにして決定されるのかを知るとともに、動物に与える食事の内容を理解する。また、エネルギー要求に付随する栄養素の評価法や、要求量の計算方法を身に着ける。

### 2 学期

肥満、腎疾患を中心とした、各種疾患に対するフードの選択を理解するとともに、それぞれの疾患に対する、手作り食の作り方を学ぶ。

## 授業計画

### 1 学期

- 1 回 ガイダンス\_体の各部位の名称
- 2 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 2 章 消化器-1
- 3 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 2 章 消化器-2
- 4 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 1 章 基礎栄養 1 節 栄養素とその機能 -1
- 5 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 1 章 基礎栄養 1 節 栄養素とその機能 -2
- 6 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 1 章 基礎栄養 2 節 食性、嗜好、嗜好性、摂食行動 -1
- 7 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 1 章 基礎栄養 2 節 食性、嗜好、嗜好性、摂食行動 -2、 3 節 健康維持と食栄養
- 8 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 2 章 栄養要求量 1-3 節
- 9 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 2 章 栄養要求量 4-5 節 脂肪 ビタミン
- 10 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 2 章 栄養要求量 6 節 ミネラル
- 11 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 2 章 栄養要求量 7-9 節
- 12 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 3 章 ペットフードと栄養指導 1-2 節
- 13 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 3 章 ペットフードと栄養指導 3-4 節
- 14 回 自主学習 (登校不要) \_宿題 免疫学
- 15 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 3 章 ペットフードと栄養指導 5-6 節
- 16 回 前期試験。愛玩動物飼養管理士 1 級 4 編 犬と猫の栄養学 4 章 疾患と栄養

17回 前期試験 解説。看護師教科書 5巻1章 犬猫の基礎栄養 -1

## 2 学期

18回 看護師教科書 5巻1章 犬猫の基礎栄養 -2

19回 看護師教科書 5巻2章 栄養評価法 -1

## 20回 自主学習（登校不要）\_宿題

21回 看護師教科書 5巻2章 栄養評価法 -2

22回 看護師教科書 5巻3章 フード -1

23回 看護師教科書 5巻3章 フード -2

24回 看護師教科書 5巻3章 フード -3

25回 看護師教科書 5巻4章 栄養指導 -1

26回 看護師教科書 5巻4章 栄養指導 -2

27回 看護師教科書 5巻5章 疾患と栄養の関係 -1 尿路系

28回 看護師教科書 5巻5章 疾患と栄養の関係 -2 循環器

29回 看護師教科書 5巻5章 疾患と栄養の関係 -3 消化器

## 30回 自主学習（登校不要）\_宿題 疾患と栄養の関係 内分泌系

31回 看護師教科書 5巻5章 疾患と栄養の関係 -4 肝臓・糖尿病

32回 看護師教科書 5巻5章 疾患と栄養の関係 -5 アレルギー

33回 後期試験。 看護師教科書 5巻6章 栄養管理 1～2

34回 後期試験 解説。 看護師教科書 5巻6章 栄養管理 3～4

35回 看護師教科書 5巻6章 栄養管理 3～5

### 授業の方法

講義、問題演習

### 教材

認定動物看護師コアカリキュラム 2019 準拠 臨床動物看護学②（動物臨床栄養学）、犬と猫の栄養学

### 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

### 授業外での学習方法

栄養学で得た知識を基に、自身のペットのフードの内容を確認する。

### 実務経験と授業科目の関係

獣医師

# 家畜学 I

## (授業概要)

人間生活を支えている家畜の役割と動向、家畜の生理生態、飼料の生産と利用を学ぶ

科	動物看護師学科	教員	金田
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年次	年間単位時間	35

## 目標

### 1学期

家畜動物とはどのように人とつながっているのか、社会的役割はどのようにになっているのかを理解する。  
家畜動物であるウシおよびブタについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

### 2学期

家畜動物であるブタおよびウマ、ニワトリについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

## 授業計画

- 1回 家畜動物の定義
- 2回 ウシの概要について①
- 3回 ウシの概要について②、ウシの体の構造について①
- 4回 ウシの体の構造について②
- 5回 ウシの体の構造について③
- 6回 ウシの品種について、ウシの飼育について①
- 7回 ウシの飼育について②
- 8回 ウシの飼育について③
- 9回 ウシの疾患について①
- 10回 ウシの疾病について②
- 11回 ブタの概要について①
- 12回 ブタの体の構造について①
- 13回 ブタの体の構造について②
- 14回 ブタの品種について、ブタの飼育について①
- 15回 ブタの飼育について②

- 16回 試験対策
- 17回 (前期試験期間)
- 18回 (前期試験期間)
- 19回 ブタの飼育について②
- 20回 ブタの飼育について③
- 21回 ブタの疾病について①
- 22回 ブタの疾病について②
- 23回 ウマの概要について
- 24回 ウマの体の構造について①
- 25回 ウマの体の構造について②
- 26回 ウマの品種について①
- 27回 ウマの品種について②、ウマの飼育について①
- 28回 ウマの飼育について②
- 29回 ウマの飼育について③
- 30回 ウマの疾病について①
- 31回 ウマの疾病について②
- 32回 ニワトリの概要について①
- 33回 ニワトリの概要について②
- 34回 ニワトリの概要について③
- 35回 (後期試験期間)

#### 授業の方法

講義

#### 教材

家畜動物の基礎（教科書）、自作プリント

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

#### 授業外での学習方法

なし

#### 実務経験と授業科目の関係

あり



## 資格対策

### (授業概要、目的)

サービス接遇検定3級及び、愛玩動物飼養管理士2級の認定試験で合格する事。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定⇒6月上旬に認定試験開催。試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/対人技能/実務技能)の対策授業を行う。

愛玩動物飼養管理士⇒11月下旬に認定試験開催。スクーリング/マークシート課題の実施と試験範囲の対策授業を行う。

科	生命科学科	教員	荻野
コース	DOG、SML、TEP、VN1	教員の実務経験	×
対象年次	1年	年間単位時間	35

### 目標

#### 前期

- ・サービス接遇検定3級取得を目指す。
- ・基本的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

#### 後期

- ・愛玩動物飼養管理士2級取得を目指す。
- ・スクーリング/マークシートの実施を行い試験範囲の内容を把握する。問題の解説。

### 授業計画

#### 前期 サービス接遇検定

- 1回 オリエンテーション(受験申込書記入/試験概要の説明)
- 2回 サービススタッフの資質について
- 3回 専門知識
- 4回 一般知識
- 5回 対人技能
- 7回 実務技能
- 8回 模擬試験
- 9回 オリエンテーション(愛玩動物飼養管理士教科書配布/課題の説明)
- 10回 スクーリング実施
- 11回 スクーリング実施
- 12回 マークシート課題報告問題実施

#### 後期 愛玩動物飼養管理士

- 13回 マークシート課題報告問題実施
- 14回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策

- 15回 前期期末試験の実施
- 16回 試験返却、解説
- 17回 愛玩動物飼養管理士試験対策①
- 18回 愛玩動物飼養管理士試験対策②
- 19回 愛玩動物飼養管理士試験対策③
- 20回 愛玩動物飼養管理士試験対策④
- 21回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑤
- 22回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑥
- 23回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑦
- 24回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑧
- 25回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑨
- 26回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑩
- 27回 SPI 対策①
- 28回 SPI 対策②
- 29回 SPI 対策③
- 30回 SPI 対策④
- 31回 SPI 対策⑤
- 32回 SPI 対策⑥
- 33回 SPI 対策⑦
- 34回 後期期末試験実施
- 35回 試験返却、解説

#### 授業の方法

対策資料及び教本を用いた授業の実施

#### 教材

サービス接遇検定実問題集(3級)/愛玩動物飼養管理士2級教本2冊/スクーリング資料/ペットの飼養管理

#### 評価の方法

期末試験80%/授業態度20%

#### 授業外での学習方法

問題集/スクーリング/マークシート/配布プリントの復習

#### 実務経験と授業科目の関係

○

# グルーミング概論・実習Ⅰ

## (授業概要)

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

科	動物看護師学科	教員	坂本 亜由美
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×4 コマ

## 目標

### 1 学期

チワワ・ダックスフンド等のシャンプー犬に実際にグルーミング（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンプー・ドライイング）を行う上で、犬に負担がかからないように仕上げる事が出来るようになるグルーミングを行いながら犬の扱い方・保定の仕方を身に付ける

### 2 学期

1頭の犬に対するグルーミングの一つ一つの作業を丁寧に行えるようにする  
時間も意識しながら仕上がりを綺麗にする

## 授業計画

- 1回 道具配布・座学（グルーミングとは～コーミング）
- 2回 座学（耳掃除～道具による怪我）
- 3回 座学（ハサミについて～実習の諸注意）
- 4回 座学（実習室案内～リボン作成）
- 5回 モデルグルーミング
- 6回 初グルーミング実習（3人で1頭）
- 7回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 8回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 9回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 10回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 11回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 12回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 13回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 14回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 15回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 16回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 17回 グルーミング実習（2～3人で1頭）

- 18回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
19回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
20回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
21回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
22回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
23回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
24回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
25回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
26回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
27回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
28回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
29回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)  
30回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)  
31回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)  
32回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)  
33回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)  
34回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)  
35回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実技実習・講義

きょうざい  
教材

グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 両生爬虫類学 I

## (授業概要)

近年様々なエキゾチックアニマルを飼育する方々が増え、それに応じて動物病院やペットショップでも扱う機会が多く、必要な知識を身につけるために、主要な4種類（ヘビ、カメ、トカゲ、トカゲモドキ）の分類や生態・特性を理解し、正しい扱い方を覚える。

科	動物看護師学科	教員	山内
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 1 学期

両生爬虫類の定義を習得し、ペットとして広く流通する両生爬虫類の特徴を理解する。ヘビ・カメの種類や生態、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し動物飼育の基礎を固める。

### 2 学期

トカゲ・トカゲモドキの種類や生態、飼育時の注意点、病気を理解し説明できるようになる。また、それらを通し動物飼育の基礎を固める。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 アイスブレイク
- 2回 両生爬虫類の特徴（分類）
- 3回 両生爬虫類の特徴（体表・骨格）
- 4回 分類別解説：ヘビ（分類・歴史）
- 5回 分類別解説：ヘビ（種類）
- 6回 分類別解説：ヘビ（身体的特徴）
- 7回 分類別解説：ヘビ（生理的特徴）
- 8回 分類別解説：ヘビ（飼育方法）
- 9回 分類別解説：ヘビ（品種）
- 10回 分類別解説：カメ（分類・歴史）
- 11回 分類別解説：カメ（種類）
- 12回 分類別解説：カメ（身体的特徴）
- 13回 分類別解説：カメ（生理的特徴）
- 14回 分類別解説：カメ（飼育方法）
- 15回 分類別解説：カメ（品種）
- 16回 試験対策

17回 前期試験

18回 試験返却

## 2学期

19回 分類別解説：トカゲ（分類・歴史）

20回 分類別解説：トカゲ（種類）

21回 分類別解説：トカゲ（身体的特徴）

22回 分類別解説：トカゲ（生理的特徴）

23回 分類別解説：トカゲ（飼育方法）

24回 分類別解説：トカゲ（品種）

25回 分類別解説：トカゲモドキ（分類・歴史）

26回 分類別解説：トカゲモドキ（種類）

27回 分類別解説：トカゲモドキ（身体的特徴）

28回 分類別解説：トカゲモドキ（生理的特徴）

29回 分類別解説：トカゲモドキ（飼育方法）

30回 分類別解説：トカゲモドキ（品種）

31回 ヘビ・カメの復習

32回 ペット業界が抱える課題点

33回 試験対策

34回 後期試験

35回 試験返却

授業じゅぎょうの方法ほうほう

座学

教材きょうざい

ビバリウムガイド 101号

評価ひょうかの方法ほうほう

期末試験きまつしけん80%、授業態度じゅぎょうたいど20%

授業外じゅぎょうがいでの学習方法がくしゅうほうほう

生体管理実習での生体管理

実務経験じつむけいけんと授業科目じゅぎょうかもくの関係かんけい

あり

# 人間形成概論

## (授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。心身ともに健康な生活を送るために必要なヘルスリテラシーを身につける。

科	生命科学科、動物看護学科	教員	校長：中野美和子
コース	DGT, TEP, SML, AQR, WLD, VN1	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35単位

## 目標

### 1 学期

人間の身体と心の関係、人間関係の基本である自己概念について考える。次いで、対人認知に関わる理論と実際を学び、考える。

### 2 学期

基礎的なコミュニケーションの概略を学び、次いで集団での行動、心理について学び、集団の一員として働き方、コーチングを含めた成人教育について学び、考える。

健康についてのリテラシー、生活習慣病の予防について学び、職場でのストレスへの対処力を身につけ、健康で有意義な人生を送る一助とする。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 アイスブレイクを兼ねた講師の自己紹介、人間の身体と心の関係
- 2回 自律神経とストレスの関係、自律神経の整え方
- 3回 自己認識・評価、リフレーミング
- 4回 自分を大事にする、self-compassion
- 5回 自尊感情 (self-esteem)、自己主張 assertive
- 6回 対人感受性、心の理論、
- 7回 印象形成、対人認知とその歪み
- 8～10回 対人認知の歪み：ステレオタイプ、偏見、透明性錯覚、現状維持バイアスなど
- 11回 試験対策、
- 12回 試験、あるいはレポート、
- 13回 試験のフィードバック

### 2 学期

- 14～15回 コミュニケーションの概略、不適切表現
- 16回 内集団、内集団ひいき、集団圧力、同調、傍観者効果
- 17回 集団、集団浅慮、集団心理～群集心理、社会的手抜き

- 18~19回 リーダーシップ、チームで仕事をするについて
- 20~22回 成人教育、コーチングとフォローアップ
- 23回 ヘルスリテラシー、日本人の寿命と主な死因の現況、日本の健康政策
- 24~28回 生活習慣病の概要とその予防：がん、循環器疾患・高血圧、糖尿病・脂質異常、COPD
- 29回 飲酒、依存症、歯科疾患の概況と予防、
- 30~31回 睡眠、疲労、メンタルヘルス
- 32回 試験対策、
- 33回 試験、レポート、
- 34回 試験、レポートのフィードバック
- 35回 感情処理、ストレス、ストレス対処

#### じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

#### きょうざい 教材

適切な教科書がないため、試験対策時に講義内容をまとめたプリントを配布する。

#### ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験・レポート提出 90%、じゅぎょうたいど 授業態度10%

#### じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

自分自身の経験を考察するレポートを書く。

#### じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物看護基礎実習

## (授業概要)

獣医療に携わる際に必要となる、動物の取り扱い方や健康管理に関する基礎知識を学び、実践力を習得する。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70時間

## 目標

### 1学期

保定の基本を身につける。バイタルサインや主要な病気の症状を理解し、動物の健康管理に役立てることができる。

### 2学期

ワクチンや避妊去勢において、予防できる病気などを理解し、クライアントエデュケーションができるようになる。エキゾチックアニマルの生態を理解し、保定方法を身につける。

**1 学期**

- 1回 自己紹介、授業に関して・動物への接し方・看護実習室の使い方
- 2回 犬保定
- 3回 猫保定 保定実習
- 4回 バイタルサイン①
- 5回 バイタルサイン②
- 6回 薬について①
- 7回 薬について②
- 8回 健康チェック①
- 9回 健康チェック②
- 10回 混合ワクチン①
- 11回 混合ワクチン②
- 12回 狂犬病
- 13回 フィラリア①
- 14回 フィラリア②

**2 学期**

- 15回 ノミ・マダニ
- 16回 予防医療
- 17回 前期試験について
- 18回 前期試験
- 19回 前期試験返却
- 20回 食事と療法食について①
- 21回 食事と療法食について②
- 23回 不妊について①
- 24回 不妊について②
- 25回 肥満予防
- 26回 血液検査①
- 27回 血液検査②
- 28回 グループワーク院内ポップ作成①
- 29回 グループワーク院内ポップ作成①
- 30回 復習
- 31回 ウサギ・フェレット：健康チェック、疾病、保定
- 32回 ウサギ・フェレット実習
- 33回 トリについて
- 34回 後期試験について
- 35回 後期試験

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学・実習

きょうざい  
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物関連法規 I

## (授業概要)

狂犬病予防法、動物愛護法を中心に愛玩動物看護師国家試験の範囲となる法律について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	井田 竜馬
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35コマ

## 目標

### 1 学期

法律の仕組み、狂犬病予防法など動物に関わる以上は必須となる制度について理解できるようになる。

### 2 学期

動物愛護法を中心に愛玩動物看護師国家試験の範囲に関する事柄や制度について理解できるようになる。

## 授業計画

- 1回 授業概要紹介、自己紹介など
- 2回 犬猫飼養頭数、動物に関する社会の現状など
- 3回 狂犬病予防法 (1) 狂犬病とは その1
- 4回 狂犬病予防法 (2) 狂犬病とは その2
- 5回 狂犬病予防法 (3) 狂犬病清浄国・地域について
- 6回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その1 法の概要、目的
- 7回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その2 対象動物、輸入禁止動物 (感染症法)
- 8回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その3 畜犬登録、狂犬病予防注射制度
- 9回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その4 罰則など
- 10回 動物が亡くなった場合 (1) 動物や動物の死体の法的立場
- 11回 動物が亡くなった場合 (2) 廃棄物処理法と化製場法と動物
- 12回 前期試験

- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 動物が亡くなった場合(3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その1
- 15回 動物が亡くなった場合(3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その2
- 16回 動物愛護法(1) 法律の成立背景その1
- 17回 動物愛護法(2) 法律の成立背景その2
- 18回 動物愛護法(3) 目的
- 19回 動物愛護法(4) 基本原則
- 20回 動物愛護法(5) 動物の飼い主の責任 その1
- 21回 動物愛護法(6) 動物の飼い主の責任 その2
- 22回 動物愛護法(7) 動物虐待に対する罰則 その1
- 23回 動物愛護法(8) 動物虐待に対する罰則 その2
- 24回 動物愛護法(9) 動物取扱業の規制 その1
- 25回 動物愛護法(10) 動物取扱業の規制 その2
- 26回 動物愛護法(11) 動物取扱業の規制 その3
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却、解説
- 29回 動物愛護法(12) 動物取扱業の規制 その4
- 30回 動物愛護法(13) 第2種動物取扱業、実験動物と産業動物、
- 31回 動物愛護法(14) 特定動物 その1
- 32回 動物愛護法(15) 特定動物 その2
- 33回 動物愛護法(16) マイクロチップの装着
- 34回 動物愛護法(17) 自治体の役割
- 35回 1年総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせまりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎健康管理学 A

## (授業概要)

イヌやネコを飼育する際に理解しておくべき重要な事項について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1 学期

投薬法の種類や主義、輸液や輸血、血液検査の意味について理解し、救急時の対応方法を理解する。

### 2 学期

イヌとネコにおける食事管理が必要な疾患と食事について理解する。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 授業について
- 2回 投薬について①
- 3回 投薬について②
- 4回 略語
- 5回 投与方法と代謝
- 6回 外用
- 7回 注射法
- 8回 輸液療法
- 9回 輸液剤
- 10回 血液検査：CBC
- 11回 血液検査：生化学①
- 12回 血液検査：生化学②
- 13回 血液検査：生化学③

### 2 学期

- 14回 血液検査：ホルモンなど
- 15回 トリアージ
- 16回 クリティカルケア
- 17回 栄養について

- 18回 前期試験
- 19回 前期試験返却
- 20回 食事について
- 21回 下部尿路疾患
- 22回 下部尿路疾患の食事管理
- 23回 消化器疾患
- 24回 消化器疾患と食事管理
- 25回 腎臓病
- 26回 腎臓病と食事管理
- 27回 肥満
- 28回 肥満と食事管理①
- 29回 肥満と食事管理②
- 30回 糖尿病と食事管理
- 31回 食物アレルギー
- 32回 食物アレルギーと食事管理
- 33回 肝臓病と食事
- 34回 その他食事管理が必要な病気と食事
- 35回 後期試験

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学・実習

きょうざい  
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎健康管理学 I

(授業概要)

イヌやネコを飼育する際に理解しておくべき重要な事項について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1 学期

犬や猫を飼育する際の一般的に注意することを身体の構造も含めて理解する。

### 2 学期

犬や猫の予防医療について理解する。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 授業について・犬猫の飼い方
- 2回 散歩・運動
- 3回 排便
- 4回 排尿
- 5回 尿にかかわる病気について
- 6回 全身のお手入れ①
- 7回 全身のお手入れ②
- 8回 耳の構造
- 9回 耳のお手入れ
- 10回 爪のお手入れ
- 11回 眼の構造
- 12回 目の病気
- 13回 肛門囊

### 2 学期

- 14回 口腔の構造①
- 15回 口腔の構造②
- 16回 デンタルケア①
- 17回 デンタルケア②

- 18回 前期試験
- 19回 前期試験返却
- 20回 デンタルケア③
- 21回 ワクチン①
- 22回 ワクチン②
- 23回 不妊手術①
- 24回 不妊手術②
- 25回 外部寄生虫①
- 26回 外部寄生虫②
- 27回 外部寄生虫③
- 28回 フィラリア①
- 29回 フィラリア②
- 30回 腸内寄生虫①
- 31回 腸内寄生虫②
- 32回 犬の予防①
- 33回 犬の予防②
- 34回 猫の予防
- 35回 後期試験

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学・実習

きょうざい  
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎生物学

## (授業概要)

高校の生物の復習を基本に、身近な生物や人体について、より深く実感を持って理解する。  
生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解する。

科	動物看護師学科	教員	黒川 花
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

前期…細胞と遺伝の法則、主な臓器等について理解する。

後期…免疫の仕組み、生命の変遷、生物学の基本について学ぶ。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 細胞の構造(1)
- 2回 細胞の構造(2)
- 3回 生体を構成する物質
- 4回 タンパク質、酵素
- 5回 動物の組織と器官
- 6回 遺伝子とゲノム
- 7回 遺伝、メンデルの法則(1)
- 8回 遺伝、メンデルの法則(2)
- 9回 いろいろな遺伝
- 10回 ヒトと遺伝
- 11回 恒常性、体液、循環系
- 12回 循環、HB
- 13回 肝臓
- 14回 肝臓、腎臓
- 15回 まとめ
- 16回 前期試験腎臓
- 17回 前期試験返却、答合わせ

### 後期

- 18回 生体防御(1)
- 19回 生体防御(2)免疫と疾病

- 20回 ホルモン  
21回 神経と感覚  
22回 自律神経  
23回 まとめ  
24回 46億年(1)  
25回 46億年(2)  
26回 自習  
27回 進化と形態  
28回 分類  
29回 学名  
30回 系統樹。ドメイン  
31回 原核生物界、原生生物界  
32回 植物界。菌界  
33回 動物界  
34回 後期試験  
35回 後期試験返却、答合わせ、生きるとは

じゆぎよう ほうほう  
授業の方法

教材と印刷物配布

きようざい  
教材

浜島書店『生物図表』

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験、80%、じゆぎようたいど 授業態度20%

じゆぎようがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

特になし。

じつむけいけん 実務経験と じゆぎようかもく 授業科目の かんけい 関係

# 生体管理概論実習(水槽)

## (授業概要)

熱帯魚を中心とした基本的な熱帯魚の種類、飼育知識を学ぶ。

また、班ごとによる熱帯魚飼育において、飼育技術の習得だけでなく、協調性、責任能力を身に付ける。

科	動物看護師学科	教員	山内
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70

## 目標

### 1 学期

水槽の立ち上げについて理解をする。

また熱帯魚の種類や生態的特徴を理解したうえで、熱帯魚の飼育方法を身に付ける

### 2 学期

熱帯魚を混泳する際の注意ポイントを理解し、病魚などが発生した際の治療方法及び予防方法を理解できるようにする。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 地下の利用方法 A
- 2回 地下の利用方法 B
- 3回 水槽飼育における基本的な用品 A
- 4回 水槽飼育における基本的な用品 B
- 5回 換水について A
- 6回 換水について B
- 7回 水槽の立ち上げについて A
- 8回 水槽の立ち上げについて B
- 9回 水合わせと温度合わせ A
- 10回 水合わせと温度合わせ B
- 11回 給餌方法と餌の種類について①A
- 12回 給餌方法と餌の種類について①B
- 13回 餌の種類について②A
- 14回 餌の種類について②B
- 15回 保温器具と保冷器具 A
- 16回 保温器具と保冷器具 B
- 17回 試験

18回 試験解説

## 2学期

19回 魚種(金魚)A

20回 魚種(金魚)B

21回 魚種(メダカ・カダヤシ)A

22回 魚種(メダカ・カダヤシ)B

23回 魚種(カラシン目)A

24回 魚種(カラシン目)B

25回 魚種(コイ・ドジョウ・シクリッド)A

26回 魚種(コイ・ドジョウ・シクリッド)B

27回 解説版作成 A

28回 解説版作成 B

29回 魚の病気と塩水浴について①A

30回 魚の病気と塩水浴について①B

31回 魚の病気と塩水浴について②A

32回 魚の病気と塩水浴について②B

33回 試験

34回 試験解説

35回 水槽のリセット

## 授業の方法

講義、実演、実習

## 教材

はじめての熱帯魚飼育

## 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

## 授業外での学習方法

担当水槽における通常メンテナンス

## 実務経験と授業科目の関係

あり

# 生体管理概論実習 陸

## (授業概要)

動物を扱う仕事（ペットショップ、動物看護師、動物保護スタッフ、動物園スタッフ）をする上で必要な動物飼育方法を身につけるために、飼育棟にて小動物のハンドリング方法や健康チェック方法、動物のケージの掃除等を実際にやりながら学び、習得する

科	動物看護師学科	教員	伊勢
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1学期

飼育棟の使い方や動物の特徴、飼育管理方法について学び、1つ1つの作業の必要性を理解した上で2時間以内に作業を終わらせる

### 2学期

グループ内でその日の目標と反省を行いながら作業をすすめ、自分の頭で考えながら飼育管理を行う

## 授業計画

### 1学期

- 1回 生体管理とは/チーム分け
- 2回 飼育棟の使い方/消毒について
- 3回 飼育棟動物を知ろう/掃除の仕方
- 4回 飼育棟実習 A
- 5回 飼育棟実習 B
- 6回 飼育棟実習 A
- 7回 飼育棟実習 B
- 8回 飼育棟実習 A
- 9回 飼育棟実習 B
- 10回 飼育棟実習 A
- 11回 飼育棟実習 B
- 12回 飼育棟実習 A
- 13回 飼育棟実習 B
- 14回 飼育棟実習 A

### 2学期

- 15回 前期試験
- 16回 前期試験返却
- 17回 飼育棟実習 B

- 18回 飼育棟実習 A
- 19回 飼育棟実習 B
- 20回 飼育棟実習 A
- 21回 飼育棟実習 B
- 22回 飼育棟実習 A
- 23回 飼育棟実習 B
- 24回 飼育棟実習 A
- 25回 飼育棟実習 B
- 26回 飼育棟実習 A
- 27回 飼育棟実習 B
- 28回 飼育棟実習 A
- 29回 飼育棟実習 B
- 30回 飼育棟実習 A
- 31回 飼育棟実習 B
- 32回 飼育棟実習 A
- 33回 総復習
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実習、講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

小動物のハンドリングや健康チェックを実践する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり